

手法2

福祉用具の活用や介護サービスの利用

- 福祉用具の活用も日常生活動作の改善に有効です。
- ・ 高齢者の日常生活動作の安全を確保する多数の福祉用具があります。福祉用具の活用によって日常生活動作の改善が可能です。(介護保険制度では、福祉用具の種目によって購入と貸与があります)
- ・ 今後の身体機能の変化が予想される場合や、進行性の障害などの場合は、その都度の動作に合わせることができるので、福祉用具の活用が効果的な場合があります。また、使用方法を試しながら、本人が使いやすいものを選択できるメリットもあります。



介護保険制度における福祉用具の種目

〔貸与〕

- ・ 車いす
- ・ 特殊寝台
- ・ 床ずれ防止用具
- ・ 体位変換器
- ・ 手すり
- ・ スロープ
- ・ 歩行器
- ・ 歩行補助つえ
- ・ 認知症老人徘徊感知機器
- ・ 移動用リフト

〔購入〕

- ・ 腰掛便座
- ・ 特殊尿器
- ・ 入浴補助用具
- ・ 簡易浴槽
- ・ 移動用リフトのつり具部分

*平成24年4月1日から貸与の種目に「自動排泄処理装置」が加わります。
* 具体の製品については、福祉用具のカタログを参照してください。

- 介護サービスの利用も組み合わせます。
- ・ 改修が困難な場合や、家族による介助の負担が大きすぎる場合などは、訪問介護サービスの利用や、通所サービスの利用なども検討します。
- ・ 移動介助の負担軽減のための手すり設置や段差解消、入浴機器の搬入のための出入口の拡幅など、訪問介護サービスを利用するために住宅改修が必要になる場合もあります。



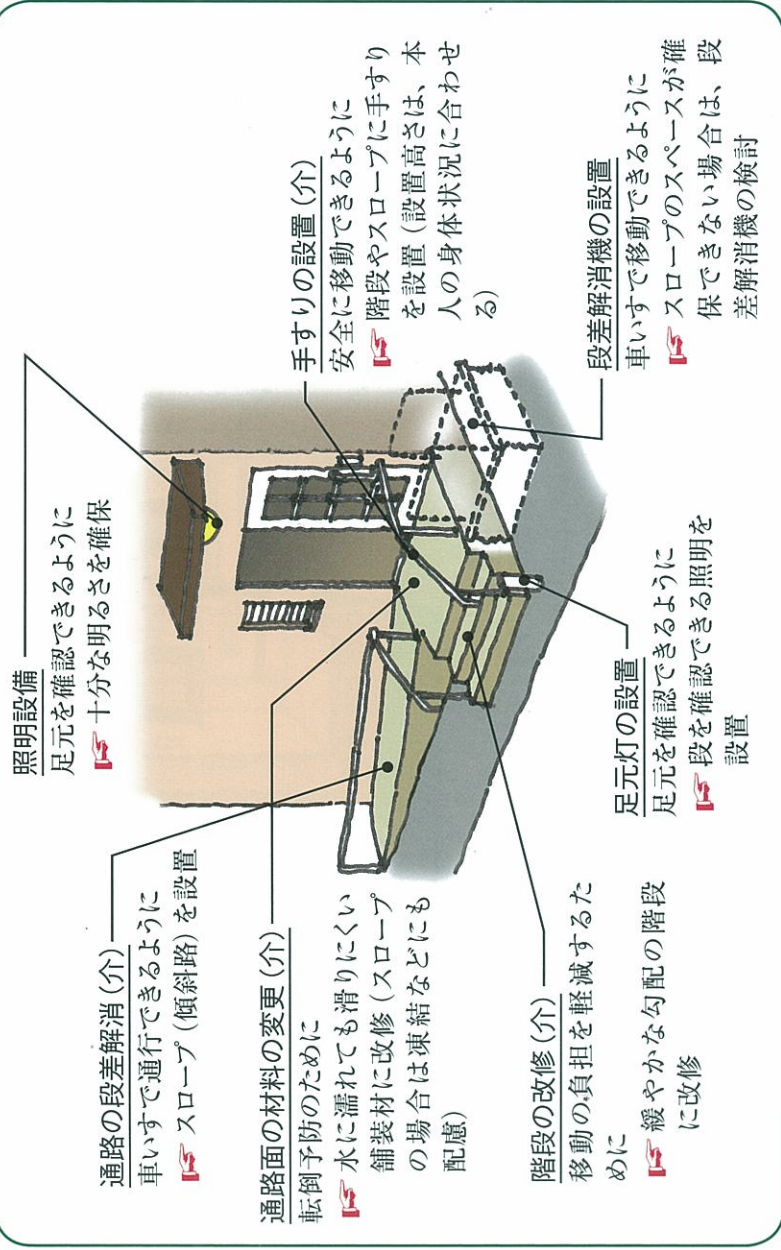
手法3

住宅改修

介護保険対象の工事項目については、市区町村（保険者）に事前に確認してください。

● 住宅の各部位における改修のポイント ア. 道路から玄関まで

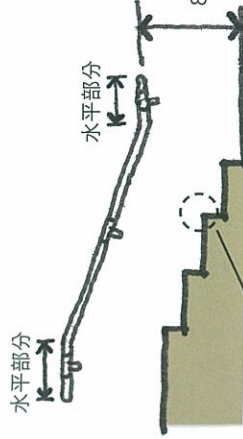
(介)：介護保険制度の住宅改修の対象項目



◆ 改修内容の解説

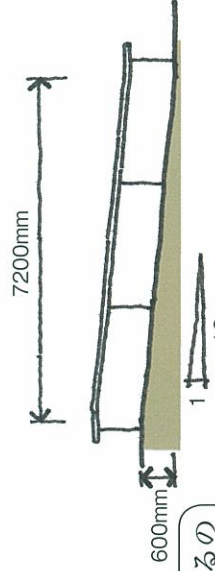
階段

- ・ 手すりの形状や高さは、本人と相談して使用しやすいものを選択する。
- ・ 屋外の手すりの表面は樹脂製が望ましい (金属製は冬季に冷たくなる)。
- ・ 手すりの端部には、水平部分を確保する。



- ・ 段鼻*1 (だんばな) は、段を認識しやすく目立つようにする。

スロープ



- ・ スロープの勾配は1/12より緩やかにすることが望ましい。
(60cmの段差に対して、勾配1/12のスロープを設置する場合は、7.2mのスロープが必要)
- ・ スロープの曲がり部分や折り返し部分に水平部を設ける。

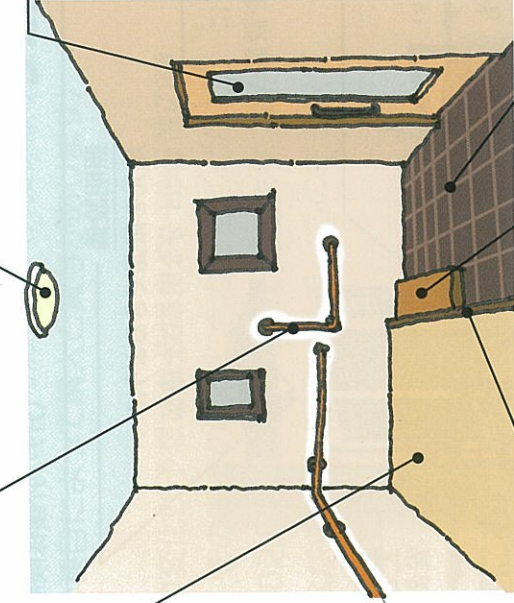
* 1 段鼻：階段の段の先端部分 * 2 高さ・寸法等の数値は参考数値。

イ. 玄関

(介)：介護保険制度の住宅改修の対象項目

手すりの設置 (介)
 上がり框の上り下りや靴を脱ぎ履きしやすいように手すりを設置

照明設備
 段を見やすくするために十分な明るさを確保



戸の形状の変更 (介)
 開閉しやすくするために引き戸など開閉の操作がしやすく、安全なものを選択
 介助用車いすを利用する場合は、スムーズに通過できる幅を確保
 戸の下枠の段差を低減

上がり框 (あがりがまち)
 踏み外しを防止するために段差を認識しやすい材質や色に変更

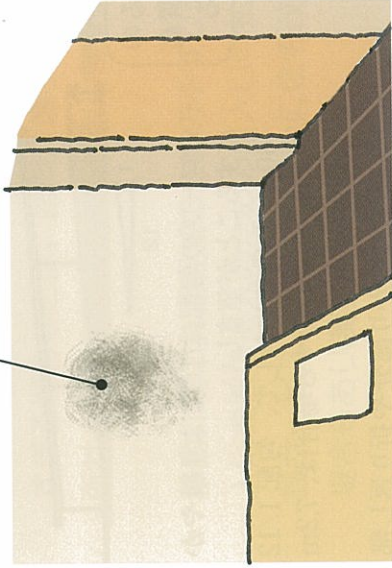
式台の設置 (介)
 段差を移動しやすくするために上がり框の下に固定の式台を設置

土間床材の変更 (介)
 転倒予防のために土間の床材を滑りにくい床材に変更

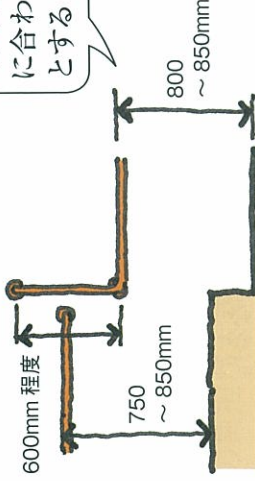
◆改修内容の解説

動作を見るポイント

- 壁に汚れがある箇所などは、日常の動作で手をついている位置であり、手すりの設置位置の目安となる。



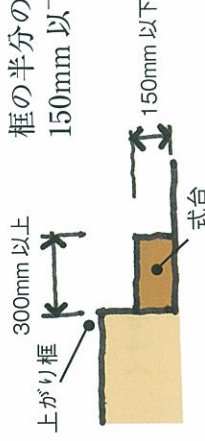
手すりの高さ



- 実際に動作してもらい、手の位置を確認してから設置高さを決める。

式台による上がり框の段差解消

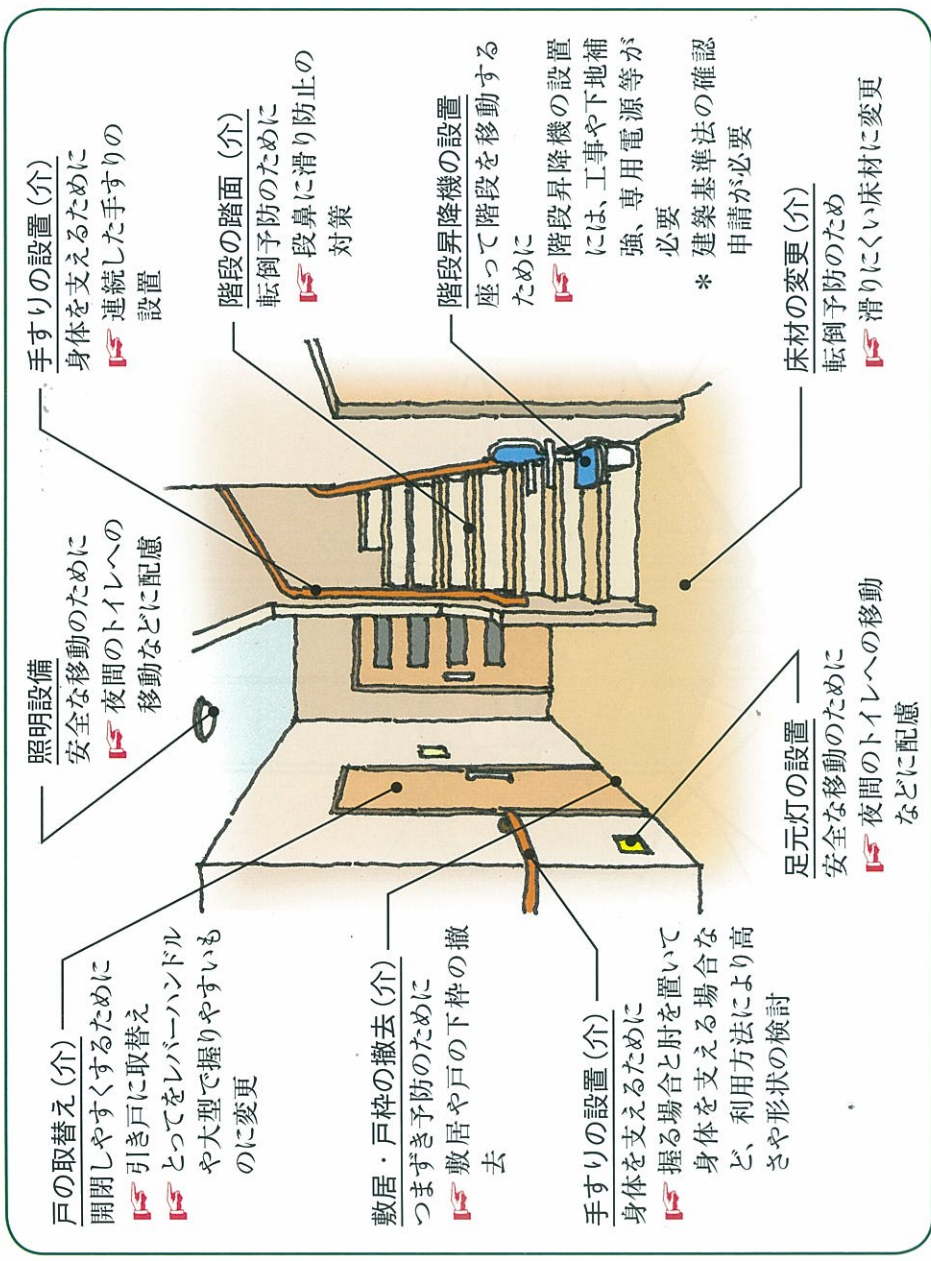
- 式台の高さは、上がり框の半分の高さ、かつ150mm 以下とする。



* 高さ・寸法等の数値は参考数値。

ウ. 廊下・階段

(介)：介護保険制度の住宅改修の対象項目

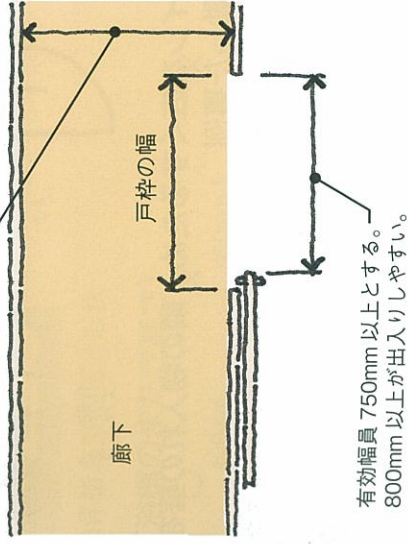


◆改修内容の解説

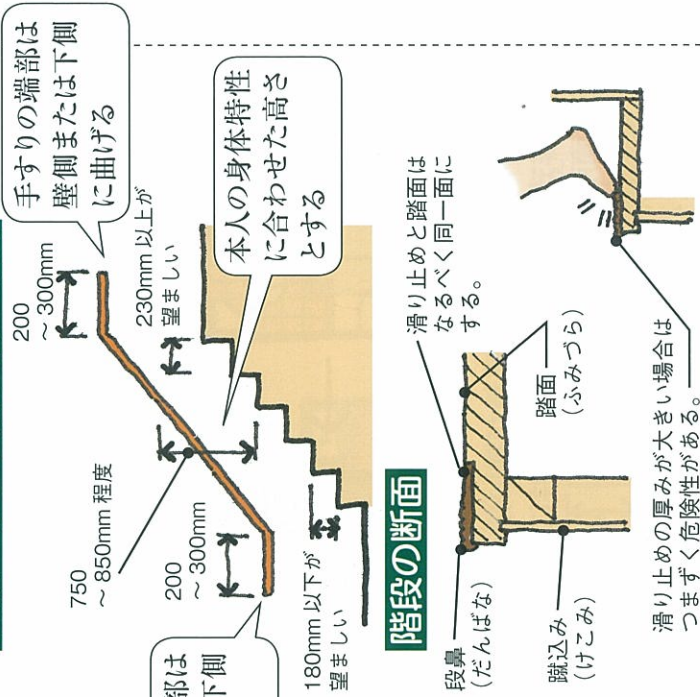
* 廊下の手すりの設置については、15 ページを参照してください。

廊下の幅と部屋の出入口の幅

780mm 以上とする。
車いすの場合、850mm
以上が望ましい。



階段の手すり及び段の寸法



エ. トイレ

(介)：介護保険制度の住宅改修の対象項目

手すりの設置(介)

立ち座りしやすいように
 本人の動作、利き手
 などを確認して手すり
 の位置を検討

床材の変更(介)

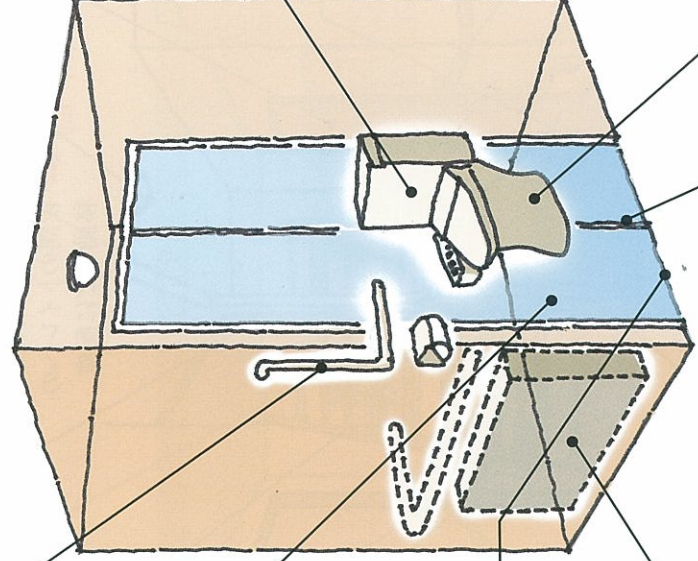
転倒予防のため
 滑りにくい床材に変更
 汚れた場合に掃除が
 しやすい床材に変更

床と廊下の段差解消(介)

転倒予防のため
 出入口の段差を解消

暖房機の設置

寒さ対策のために
 暖房機を設置
 (電源の確保)



便器の取替え(介)

使いやすいように
 和式から洋式に取
 り替え
 洗浄機能付き便座
 の取付(便器の取
 替に伴う場合)
 便座脇のスイッチ
 は座りにくい場合も
 あるので注意

福祉用具の活用

立ち座りしやすいよう
 補高便座や電動昇降便
 座等の福祉用具を活用

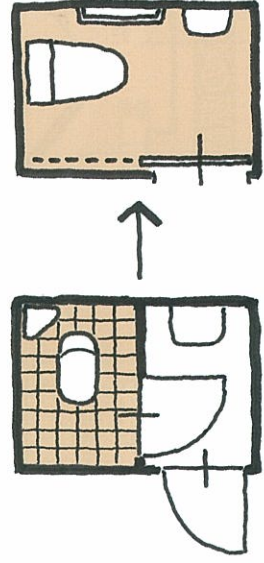
戸の形状の変更(介)

出入りしやすいように
 引き戸、棒状のつとてに変更

◆改修内容の解説

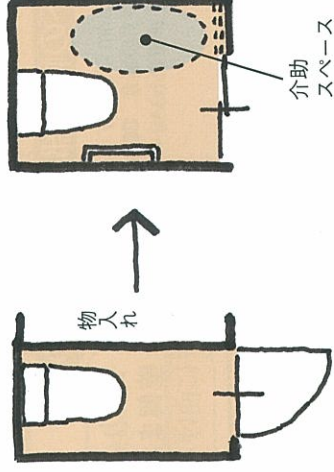
* トイレの手すりの設置については、
 15 ページを参照してください。

トイレと洗面所の一室化



既存の和式トイレの面積が狭いため、和式
 から洋式への便器の取替えと共に、隣接す
 る洗面所と一室化した事例

トイレの広さの拡張



トイレを広くするため、隣の物入れの壁を
 移動した事例

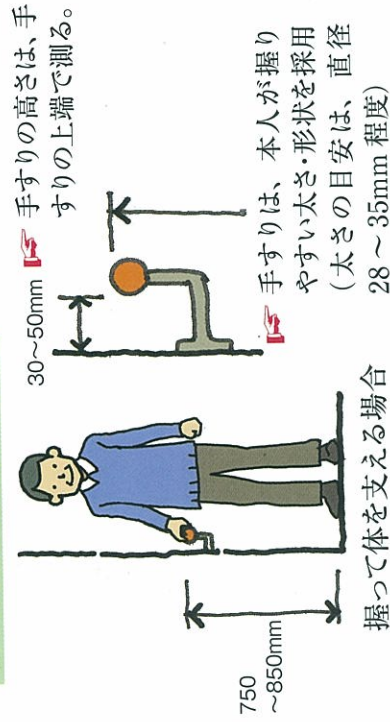
・介助を行いやすくするために、便器の横また
 は前方に500mm程度のスペースを確保する。
 ・利き手(麻痺のない側)に合わせて、便器の
 位置を決める。

* 高さ・寸法等の数値は参考数値。

カ. 手すり設置

● 廊下の手すり設置

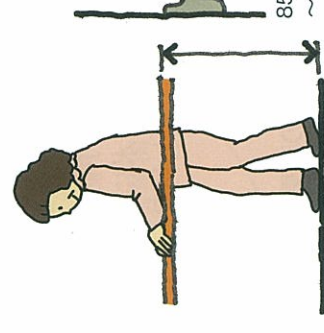
手すりの設置高さの目安



手すりの端部

洋服の袖口を引っかかないように、手すりの端部は、壁側か下方に曲げる。

エンドキャップ等の手すり部品を付ける方法もある。



肘を置いて体を支える場合

手すりを取り付けられる場所

手すりを設置する際は、体重をかけても支えられるように、柱など強度のある箇所に取り付ける必要がある。

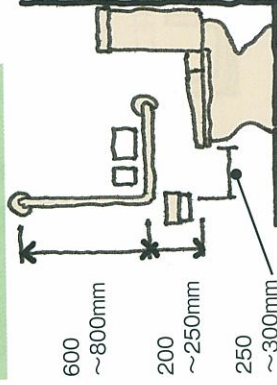
柱などが無い場合は、手すり設置のための下地補強の必要がある。

● トイレの手すり設置

立ち座りのための手すり設置例



L型手すりの設置位置



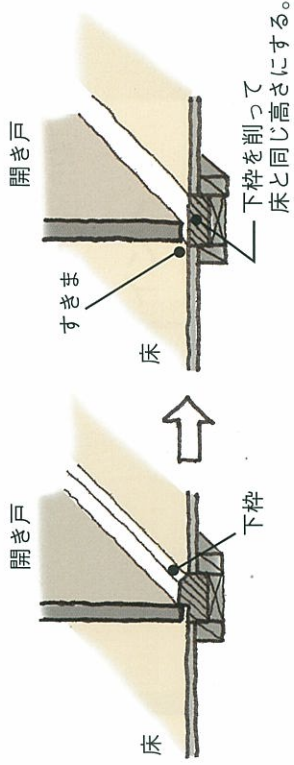
本人の身体特性に合わせて、動作しやすい設置位置を決める。

手すりの位置によっては、パーホルダーの位置を変更する必要がある。

キ. 段差解消

● 開き戸の下枠の段差解消の例

下枠の段をなくし、床の段差を解消



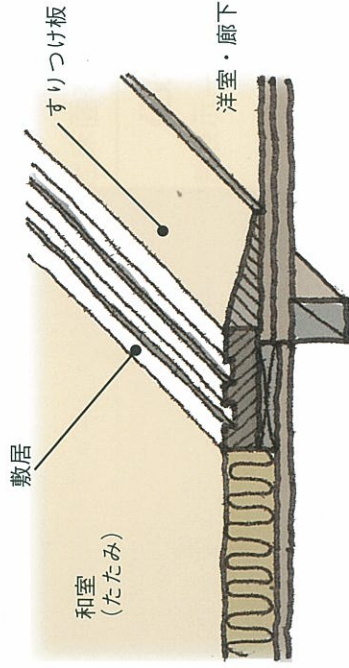
❏ 下枠を削って床と同じ高さにする。

❏ 下枠を撤去して段差のない枠を新たに設ける方法もある。

❏ 元の戸のままでは、戸の下に隙間(すきま)が生じるので、戸を新たに製作するか、戸の下部に継ぎ足して隙間をふさぐ。

● 「和室」と「洋室・廊下」の段差解消の例

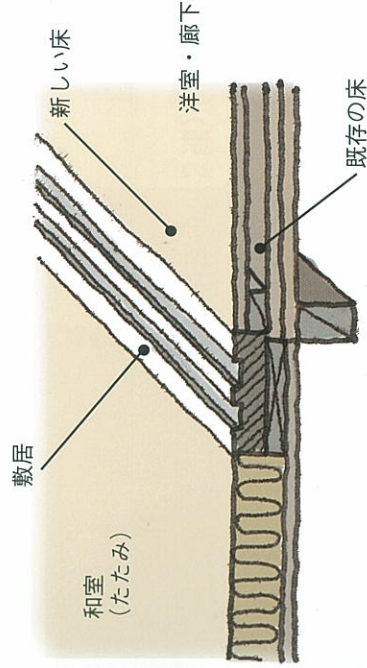
すりつけ板で段差を解消



❏ 敷居の高さに合わせたすりつけ板を洋室・廊下の床に取り付ける。

❏ 車いすを使用する場合は、敷居の前から車いすがスムーズに入ったり出たりできるか、実際に使って確認する。

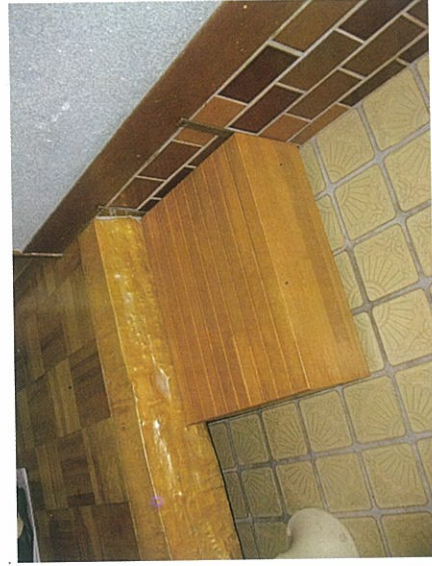
床のかさ上げ(床の増し貼り)をして段差を解消



❏ 和室の敷居の高さまで、低い方の洋室・廊下の床のかさ上げをする。

❏ 既存の床面をそのまま利用して、新しい床面を貼る方法である。(家全体の床の高さを確認し、新たな段差を作らないようにする。)

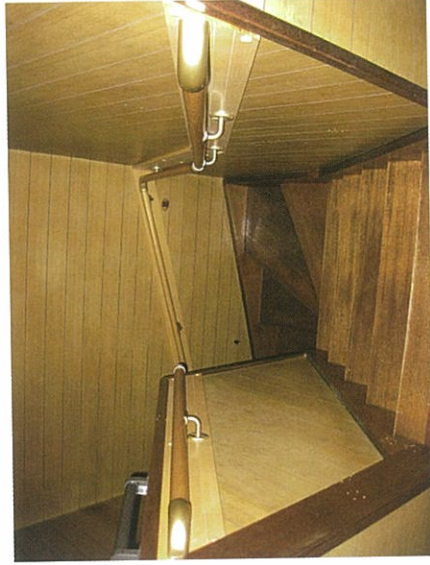
■改修事例の写真



- ・ 玄関の上がり框の段差に対して、式台を設置した事例



- ・ 2階の出入口までの階段に、屋外用の階段昇降機を設置した事例



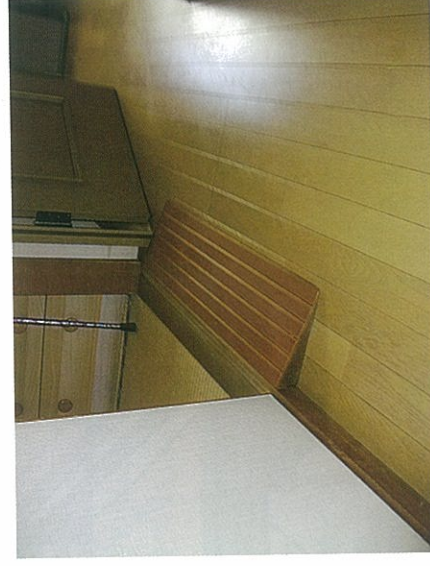
- ・ 階段の両側に下地補強の上、連続した手すりを設置した事例



- ・ 寝室に隣接させて、トイレを新設した事例



- ・ 浴槽の周囲にし型手すり及び水平すりを設置した事例



- ・ 敷居の段差解消のために、すりつけ板を設置した事例

2-2 住宅改修工事の実施のポイント

●改修工事を行う工事業者との質疑応答・調整

- ・工事業者に工事内容の図面と見積書の作成を依頼します。
- ・介護保険制度の申請を行う場合は、申請の手続きに対応した書類、図面、見積書等が必要です。（具体的内容は、保険者（区市町村）へ確認して下さい。）

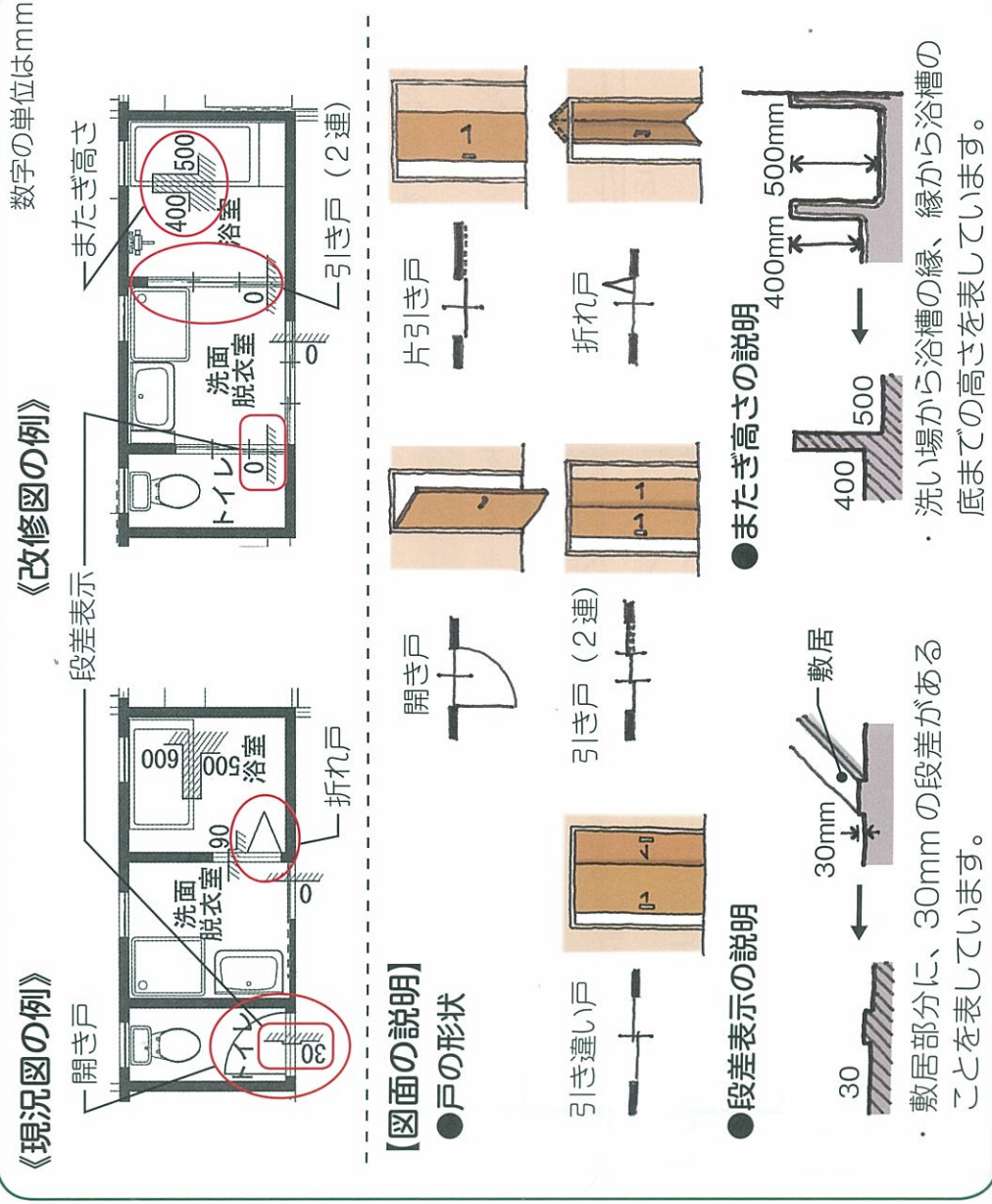
(1) 図面の依頼に関するポイント

ポイント

- ① 現況図：現状を平面図や展開図に描き、段差、高さ、幅などを記載します。
- ② 改修図：改修予定の内容を平面図や展開図に記載します。
図面には、手すり等の部品取り付け位置や高さ、材料、下地補強の方法なども具体的に記載します。

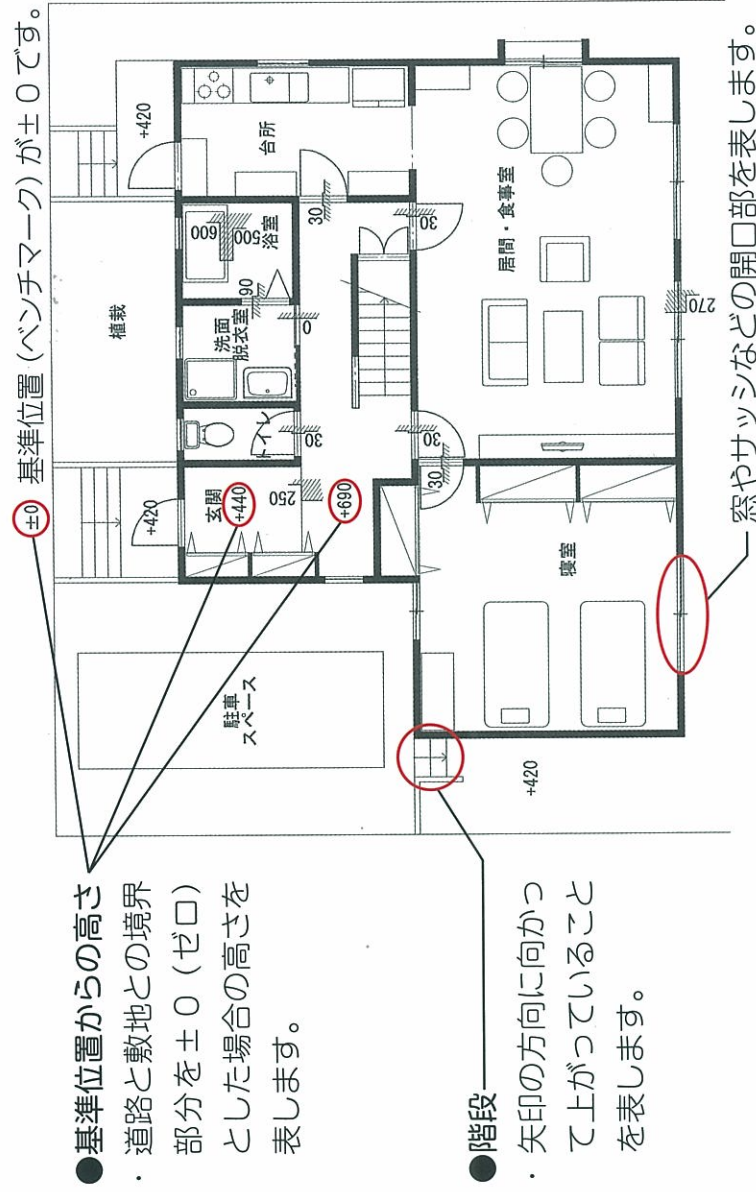
A 平面図とは

- 建物を窓の高さで水平に切り、切り口と床面を上から見た状況を示しています。



《現況図（家全体）の例》

数字の単位はmm（ミリ）



《改修図（家全体）の例》

